

まわり道 (1975)

FALSCHER BEWEGUNG

THE WRONG MOVEMENT [米]

FAUX MOUVEMENT [仏]

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 西ドイツ

色彩 Color

時間 100分

初公開日 1977/01/27

公開情報 欧日協会

映倫 G

【解説】

ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』を叩き台に、「ゴールキーパーの不安」の原作などでヴェンダースとは縁の深い作家P・ハントケがその脚色をした、現代ドイツにおける孤独を紡ぎ出す内省的な作品。すべての作品がロード・ムービーのヴェンダースだが、これと前作「都会のアリス」、次作「さすらい」を特にその三部作と呼んでいる。荒涼としたドイツを一人の青年が歩いている。作家を目指しながら何も書けない焦燥にあった彼に、母が旅することを勧めたのだ。青年ヴィルヘルムは、元ナチスの老芸人とその孫娘、女優や自称“詩人”の青年などと出会い、道中を共にする。辿り着いたのは、ライン河畔の丘陵地帯にある金持ちの大邸宅。そこで過ごす内に彼らは、心のすれ違いの中で幾つかの悲劇をみる……。描かれる風景の寂寥感が何より印象に残るだろう映画だ。

【クレジット】

監督	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders
原作	ペーター・ハントケ	Peter Handke
脚本	ペーター・ハントケ	Peter Handke
撮影	ロビー・ミュラー	Robby Muller
編集	ペーター・プルツィゴッダ	Peter Przygodda
音楽	ユルゲン・クニーパー	Jurgen Knieper
出演	リュディガー・フォグラ	Rudiger Vogler
	ハンナ・シグラ	Hanna Schygulla
	ナスターシャ・キンスキー	Nastassja Kinski
	ハンス・クリスチャン・ブレヒ	Hans Christian Blech
	ペーター・カーン	Peter Kern
	リサ・クロイツァー	Lisa Kreuzer